

みんなで「こども館（仮称）」をつくろう！ プレ・ワークショップを開催！



こども館（仮称）づくりの流れ

①キックオフフォーラム

第1回「物語のはじまりはじまり」

第2回「この世界に耳をすますと」

第3回「カラダの力、アタマの不思議」

④建築デザインワークショップ

「知る」・・・期待されるもの

「考える」・・・利用イメージ

「描く」・・・プランの検討

「まとめる」・・・提案として

⑤展示公開型パブリック・コメント

⑥実践子ども学レクチャー

那珂川町こども館（仮称）プレ・ワークショップを開催しました。
 プレ・ワークショップは、こども館（仮称）の活動を模擬的にを行い、
 子どもたちの様子や行動を建築家や専門家が観察して、こども館の
 基本計画や設計に役立てようという目的で開催しました。

「こども館（仮称）」それは、未来ある子どもたちや子どもを支える大人たちが集う施設。そこは、安らぎの場であり那珂川町の未来づくりの出発点。そんな創造性ある「こども館」づくりが、この夏いよいよはじまりました。でも、ステキな「こども館」をつくるには、住民や行政、建築や子どもの専門家など、大人たちが力を合せる必要があります。この「こども館」づくりでは、「チーム未来NAKAGAWA」を結成し、みんなで力を合わせて取り組みます。あなたも、このチームに参加して「こども館」づくりに携わりませんか。今回行った「プレ・ワークショップ」は、ステキな「こども館」の周知と、調査の両方の意味をもつイベントです。プレ・ワークショップのあとには、こども館の施設に必要な要素、空間の取り方、使用する素材などについて具体的に検討してみる「建築・デザインワークショップ」や、チーム未来NAKAGAWAから出された意見を目に見える形に分かりやすく展示する「展示公開型パブリック・コメント」などもりださずです。さあ、みんなで那珂川町の子どもたちの未来について楽しく語り「こども館」づくりをはじめましょう。

少しの遊び（道具）の提供、ちょっとのきっかけで遊び方が広がっていくことを感じた

子ども達が笑顔になれる施設がいい

幅広い年齢で遊べる企画が欲しい

子どもの年齢によって遊び方が違うので、対応できるさまざまな部屋があればいいと思う

こんなこども館がほしい！！

裸足で遊べる床と赤ちゃんが転がるスペースが欲しい

プレ・ワークショップの参加者の声の一部です。
 他にもたくさんのご意見をいただきましたので、
 これらの意見を参考に、建築デザインワークショップで「こども館」の基本計画を作っていきます。

明るい木のイメージ、形は丸みをおびたもの

子ども自身で片づけできるようなもの

こども館を支える大人の仲間作り

色々なプログラムを組むとの話しが聞けて、今からとっても楽しみ

発想力を養わせたい

学校や家庭でできない面白い体験をさせたい